

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.5



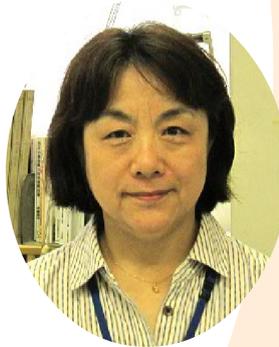
【発行】
 川崎市老人福祉施設事業協会
 〒213-0001
 川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内
 TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077
<http://www.kawasaki-roushikyoo.org/>

地域ケア推進について

川崎市健康福祉局地域ケア推進担当部長
広瀬壽美子



日頃から本市の高齢者福祉施策に御理解、御協力をいただきありがとうございます。



本市における平成24年4月の高齢化率は、17.1%であり全国平均と比べると若い都市と言えますが、今後急速に高齢化が進み、特に単身高齢者や高齢者世帯が急増してまいります。

第5期計画（かわさきいきいき長寿プラン）では、地域社会環境や家族関係が大きく変容している中、高齢者の方が、介護保険の理念である尊厳を保持しながら、介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ニーズに応じた住まいの提供や、医療、介護、生活支援、予防などのサービスを提供する地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めてまいります。

そのため、今年度より、医療と介護の連携や認知症施策の推進を図る「医療連携・認知症担当」、介護予防事業を通して要支援・要介護状態となることを予防し、元気高齢者を増やす取り組みを進める「介護予防担当」、地域ケアの中心的役割を担う地域包括支援センターの運営を支援するなどの取り組みを進める「地域包括ケア担当」の三係からなる『地域ケア推進担当』部署が設置され、各区高齢者支援課に社会福祉士や保健師が配置されるなど体制が充実・強化されました。

こうした新たな体制で、今年度より認知症疾患医療センターや認知症支援連携会議の設置による医療と介護の連携の強化、介護予防いきいき大作戦の推進、地域包括支援センターの機能強化、ひとり暮らし等高齢者の見守りの推進、災害時における避難支援等防災体制の強化等を重点的な取り組みとして進めてまいります。

今後におきましても、区役所との連携を図りながら、地域の高齢者の福祉のセーフティネットとしての役割をお持ちの皆様方と共に、行政と地域が協働して地域ケア体制の推進を図ってまいりますと考えております。よろしくお願いたします。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 特別養護老人ホーム多摩川の里

〒214-0012
川崎市多摩区中野島6-13-5
TEL:044-935-5200 / FAX:044-935-3511

多摩川の里は、平成5年に多摩区中野島に開所しました。

多摩川に程近い、中野島駅から徒歩5分位の、とても便利な住宅街に位置します。少し歩けば、そこは春には白い花を咲かせ、秋には大きな実を付ける梨畑が広がる、自然豊かな地でもあります。

おもての通りは、大きな車は奥に進めないため、車が少ない分、人通りが絶えることありません。その地域の方たちの、ちよつと休憩に、あるいはちよつと立ち話にと、ご利用頂いている一角があります。



建物の道路に面した角にある花壇がそうです。1㎡位の小さな花壇ですが、手入れが行き届き、いつも季節の色とりどりの花を咲かせています。

花を育て、管理して頂いているのは、中野島ガーデニングクラブのボランティアの皆さんであり、こまめに水やりを行って頂いている近隣の方々です。

多摩川の里の特色って何？と聞かれたときに、この情景の中に、多摩川の里の目指すもの、雰囲気、そして地域との関係が集約されているので、と申し上げます。

さて、活動紹介です。先ずは、入所の方々の様子です。

今日は5月28日、「風呂上がり一杯会」の日です。大浴室でひとつ風呂浴びた後に、「さあさあ」「まあまあ」「どーもどーも」「じゃあ、かんぱーい」。全国、どの家庭にもある、当たり前のご家庭です。もちろん、喜んでいただけました。



次に、デイサービスの方々の様子です。6月7日梅雨入り前の絶好のランチ日和に「ガーデンランチ」を召し上がって頂きました。メインはかまど付のお釜に入った釜飯です。味良し、見た目良し、雰囲気良しで皆さん大好評でした。

以上、多摩川の里の紹介でした。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 セイワ
介護老人福祉施設 すみよし

〒211-0033
川崎市中原区木月祇園町2番1号
TEL:044-455-0880 / FAX:044-455-0883



介護老人福祉施設すみよしは、平成6年4月1日に川崎市では13カ所目、中原区では最初の施設として開設されました。

市の中心部にある武蔵小杉駅から徒歩15分程度の交通至便な環境に恵まれた住宅街の中に位置しています。

隣接地には、川崎市国際交流センターがあり、多くの国の方々と市民との交流を目的することができま

施設は、①特養・ショート併せて100名定員 ②通所介護定員20名、認知症対応型定員10名 ③居宅介護支援 ④地域包括支援センターの4事業部門から成り72名の職員が従事しています。

【建物概要】

- 敷地面積 3,000㎡
- 規模構造 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建
- 建築面積 1,513,38㎡
- 延床面積 4,610,31㎡

職員は、いつも「あたたかな心」といっばいの笑顔」を持ってご利用者に対し良質かつ信頼されるサービスの提供に努めております。

また、高齢社会における地域福祉の拠点施設として防災・防犯・環境美化やことも・高齢者の見守り等安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

また、平成24年度から27年度の3カ年における「すみよしの中期事業計画」では「魅力ある施設の創造」を目標として4つの指標を定めておりすみよし

1. 利用者・家族から信頼される
2. 地域から親しまれる
3. 職員が愛着と誇りを 持てる
4. 第三者評価機関から 高い運営評価を受け る施設となることを 目標としております。

今後、この計画の具体化を図る事業を着実に進め市民の方からより一層親しまれ信頼される施設として地域と共に歩む健全な施設運営に努めて参ります。



福祉施設のご紹介

**社会福祉法人 和楽会
井田デイサービスセンター**

〒211-0035
川崎市中原区井田2丁目27番1号
TEL:044-751-6655 / FAX:044-751-6383

かわさき総合ケアセンターには、井田デイサービスセンターの他に、居宅介護支援センターや地域包括支援センター、緩和ケア病棟、訪問看護ステーション、在宅ケア・医療相談部門があり、地域社会のニーズに応えるため、保健・医療・福祉の各サービス機関が効果的に協力連携し合えるよう、多機能・複合的にサービスを提供しており、地域ケアの拠点として役割を担っています。

井田デイサービスセンターは、川崎市中原区にある川崎市立井田病院、「かわさき総合ケアセンター」の中にあります。



【井田デイサービスセンター】



【大浴場】

【行事お茶会】



【ボランティアの方による発表会】

これからも地域の皆様に愛される井田デイサービスセンターにご期待下さい。

井田デイサービスセンターは、若いスタッフが多く元気一杯の行事も人気ですが、ご利用されている方の中で、最も好評頂いているのは「お風呂」です。最近ユニットケアが叫ばれ個室とよばれる一人でお風呂が主流のようですが、井田の大浴場は「足を伸ばして、たっぶりのお湯に浸かれる」と大変喜ばれております。また、お風呂の中では自然と会話が弾んでついつい長風呂にという方も少なくありません。

福祉分野でサービス提供を行っている井田デイサービスセンターは、1日40名の定員となっており、デイサービスに来て頂く利用者には「楽しく、そして安全に過ごす」ことをモットーにスタッフ一同、皆様をお迎えしております。

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 慈正会
特別養護老人ホーム 虹の里

〒215-0013
川崎市麻生区王禅寺963番地26号
TEL:044-986-1007 / FAX:044-986-1027



【航空写真】

虹の里は、平成4年5月に開設され、今年で21年目を迎えます。

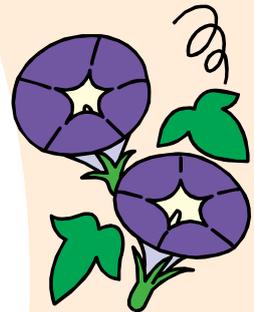
サービスの内容は「特別養護老人ホーム」「短期入所事業」「デイサービス事業」「地域包括支援センター」「居宅介護支援事業」をご提供しています。

施設は川崎市北部の麻生区に所在しており、近隣には「禅寺丸柿」で有名な古刹「王禅寺」があり、緑の多い自然環境に恵まれた場所です、常時百名以上のお年寄りが暮らされています。



【施設中庭】

虹の里ではご入所者さまや、通所されてくるご利用者さまが、季節を愛でながら生活することができるよう、4月の「お花見の会」に始まり、8月の「納涼祭（盆踊り）」、秋の「大運動会」、2月の「節分」など、ご利用者さまと職員が参加するイベントを毎月開催しております。



【盆踊】



【ドッグボランティア】

また、開所以来、ご支援をいただいている「虹の里音楽ボランティア」さまをはじめ、各方面のボランティアさまの献身的なご支援により、ご利用者さまに「楽しさ」と「元氣」を実感していただきながら日々の運営を行っています。

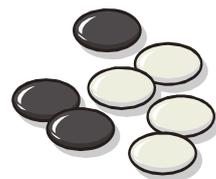
これからも、「愛と奉仕」「迅速」「親切」をモットーにして、施設のご利用者さまとご家族が心豊かな生活が送れますように、職員一同で努力してまいります。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.5

第30回 川崎市老人福祉施設 囲碁・将棋・連珠・オセロ大会



記念すべき第30回の川崎市老人福祉施設『囲碁・将棋・連珠・オセロ大会』が、当協会主催、川崎市及び川崎市社会福祉協議会後援により平成24年6月14日市民プラザにおいて開催されました。

この大会は、市内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・デイサービスの御利用者が、囲碁・将棋・連珠・オセロなどの競技を通して生きる喜びを実感すると共に、参加することによって他の施設の方々との交流を図ることを目的としております。

当日は、梅雨の合間の好天に恵まれ、例年にない多くの参加者（エントリー158名）と付添職員、審判をお願いした川崎市シニア囲碁連盟を始め、多くのボランティアの方々の協力を得て総勢400名を超える大規模な大会となりました。



【囲碁対戦場面】



【選手宣誓】

開会は、当協会石野厚副会長の挨拶に始まり、10回の出場者の表彰及び川崎市社会福祉協議会特別賞として、高齢参加者に記念品が贈呈されました。

田村経義氏（しゃんぐりら）からの「日頃の練習の成果を十分に発揮し、親睦と交流を深め戦うことを誓います。」の力強い選手宣誓の後、各種目毎に競技が開始されました。

午前中に1回戦・2回戦へと進む中、会場内は早くも熱気を帯び、昼食を挟んで午後からは3回戦・準決勝へと進むにつれ、各テーブルには観戦者も多くなり、白熱の度を加える中で大いに盛り上がりました。



日頃の練習の成果を發揮出来た方、また、惜しくも涙を飲んだ方、中には熱くなる人もおられました。対戦を終えた者同士、相手を讃えるなど、いかにも大会の趣旨に相応しい姿があちこちで見られました。

対戦が終わった方同士「腕試し戦」等も見られ、大会は和気あいあいの内に終了いたしました。

閉会は、川崎市健康福祉局長寿社会部成田部長より「趣味を持つのは大切なことです。勝負は時の運。勝たれた方、惜しくも敗れた方、来年に向け頑張ってください。」との挨拶を頂き、その後、各部門優勝者には川崎市長賞、準優勝3位の方には川崎市老人福祉施設事業協会会長賞が授与され、その栄誉が讃えられました。

来年もここに集い、互いに力を発揮し対戦を楽しめることを心から期待して、大会観戦記といたします。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.5



【最高齢者へ記念品贈呈】



【10回出場者表彰】

～優勝者のコメント～

【特養：囲碁の部】

船橋 貞明（鷲ヶ峰）

「連覇しますか」の問いに、うなづく。

【一般：囲碁の部】

十河 由治（ケア風知草）

高崎から最近、川崎にでてきました。5、6年久しくやっていなかったが、こんなに勝って嬉しいです。（奥様の応援あり）

【特養：将棋の部】

井田 昭治（夢見が崎）

特にないですけど、好きだったので楽しかったです。

【一般：将棋の部】

小泉 定男（幸風苑デイ）

相手が強いので大変でした。

【一般：連珠の部】

川井 吉男（多摩川デイ）

日頃はデイに通って連珠を始めて、初参加で優勝してしまいました。

【特養：オセロの部】

藤巻 ヨネ（桜寿園）

やっと思いが叶いました。来年も頑張ります。

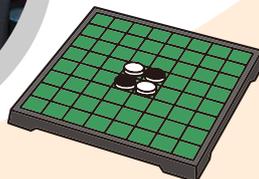
【一般：オセロの部】

松本 俊子（ケアすえなが）

運が良かった。皆さまに感謝します。



【優勝者へ市長表彰】



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.5

通所介護事業におけるサービス提供時間変更の影響と今後の展望

社会福祉法人 馬島福祉会
介護老人福祉施設 恒春園



恒春園では前後30分間サービス提供時間を設けることで6-8から7-9へ変更を行ったが、その時に懸念されたことは時間延長での利用者負担と職員の勤務体制の確保であった。前者はプログラムを変更し個別、グループ、全体でのレク等を行うことで対応しているが利用者には時間延長を感じさせない濃いサービスの提供を常時行うことは今後の課題であると考ええる。反面、機械浴対応の時間制限が緩和され、これまでより多くのご利用者がゆつくりと入浴して頂く事が出来るようになり喜ばれている。



また、ご家族からも時間延長によるゆとりが大変に助かると好評である。後者は勤務時間変更（7時間半から8時間）と送迎車両を1台追加し送迎時間の短縮を図ることで対応し現在まで大きな問題は出ていない。結果、以前より多くのご利用者にご利用して頂いている現状である。

平成24年度介護保険制度改正による、デイサービスサービス提供時間変更に至る経緯及び中間報告

社会福祉法人 和楽会
清水 完敏

私ども和楽会は、川崎市内にデイサービスを4事業所運営しており、介護保険制度改正の内容が新聞報道等で報じられていた段階から、諸問題（特にサービス提供時間変更）にどのように対応を行うか、2月から各事業所の管理者及び相談員が週1回制度改正に対応するべく会合を重ね7-9時間への変更を決定しました。

変更するにあたっての苦労した点とすると、提供時間延長に伴い相対的に送迎時間が減少し、送迎業務に若干の混乱が生じましたが、運転専門職員の積極雇用、送迎スケジュールの徹底的な見直し、合理化を図ることにより解決を図りました。

また、変更後のご利用者・ご家族の反応としては、移行前にアンケートを行い概ね時間延長についてはご理解をいただいております。特にご家族には好評であり、ご利用者についても以前よりお風呂にゆつくり入れる時間が確保され今

のところ大きな不満は出ていない現状です。

今後の課題としては、ミーティングや記録業務の時間が確保困難であり、職員間のコミュニケーションを合理的且つ効果的に確立をしなければならぬと感じている、そしてご利用者に関しては、帰宅願望が強いご利用者に対して日短くなったとき（冬は日没後の送りとなる）の対応をどのようにするか、フレックスタイム導入等を検討していきたいと考えています。

編集後記

広報委員6名の適正？な役割分担の下、どうにか24年度前期らくふく瓦版の発行ができました。今号は介護保険法の改正に伴いデイサービス事業の時間延長への取り組み施設の状況や長寿社会部に新設された地域ケア推進担当広瀬壽美子部長のご挨拶をトップ記事として編集いたしました。どうぞご覧ください。

今後らくふく瓦版お楽しみに！